

平成 30 年 2 月 6 日

一般社団法人日本環境化学会  
平成 29 年度第 3 回理事会議事録

開催日：平成 30 年 1 月 26 日（金）14:00～15:00

場 所：東京理科大学 PORTA 神楽坂 7 階第 2 会議室

出席理事：（敬称略）大河内 博、太田壮一、大塚宜寿、門上希和夫、坂田昌弘、四ノ宮美保、柴田康行、清家伸康、高菅卓三、高田秀重、田辺信介、中島大介、中野 武、橋本俊次、藤峰慶徳、尹 順子、吉田寧子、

出席監事：（敬称略）西島 功、原田修一

1. （議長選出）

定款 39 条「理事会の議長は会長がこれにあたる」に基づき会長柴田康行氏が議長を務める。司会は業務執行理事清家伸康氏が務める。

2. （定足数について）

定款 40 条により全理事数（22 名）の 2 分の 1 以上（11 名）とあり、本日の出席理事は 17 名であり定足数を満たしており、また監事も出席しており理事会は成立する。

3. （議事録について）

議事録は事務局が記録、作成し第 44 条により議長及び出席した代表理事並びに監事の署名、押印をし、本学会 HP へ掲載する。

4. （本日の議案審議）

**議題 1. 部会活動費について**

- ・現在の部会活動費申請手順の⑤として担当理事への収支報告を含める。
- ・申請を受理するにあたっては目的に即した企画かどうかの判断が必要。
- ・予算枠内の企画であれば担当理事の判断で受理し、枠を超える企画については会長副会長判断とする。
- ・その場合には予算案を提出してもらおう。
- ・部会活動費だけに頼るのではなく、他の方法でも資金調達できる。

**議題 2. 討論会開催地について**

- ・第 28 回環境化学討論会は埼玉会館で決定。
- ・第 29 回は大阪国際センターで 2020 年 6 月開催予定。
- ・第 30 回は記念大会を企画するか検討。
- ・今回の埼玉開催は急な話しであったのでできる限り早めに、先の学会開催地も決定した法がよい。
- ・役員は 2 年の任期のため、先まで決めて良いかどうか。

- ・ 討論会事務局を学会事務局が兼務することで、会場は決めやすくなる。
- ・ 幹事会内に討論会の専門部会をつくり、開催時期などについても再検討が必要ではないか。
- ・ 6月は申込に年度をまたぐことが多く、異動などで参加できなくなることもある。
- ・ 6月は学生の就活に重なりは参加しにくいのではないか。
- ・ 検討委員として大河内理事、大塚理事、高田理事、藤峰理事が検討していくことになった。
- ・ 今後の開催場所の候補に中国地方を含めてほしい。

### 議題 3. ORCID についての報告

- ・ 機関誌「環境化学」は英文ジャーナルではないため「ORCID 学協会コンソーシアム設立に向けての科研費申請」には加われなかったとの説明があった。

議長により平成 30 年度第 3 回理事会の議題審議が終了したことが宣言され、閉会した。

署名人 議長 代表理事 柴田康行



監事 西島 功



監事 原田 修一

